

## スマートフォン対応アプリのご紹介

～羽田空港国内線のフライト、イベント、店舗情報などをお届けします～



当社では、『羽田空港 国内線』アプリ(無料)の提供を開始いたしました。

本アプリは、国内線のフライト情報をいつでも、どこでも確認できるほか、ご搭乗予定のフライトを「マイフライト」として登録することで、ご搭乗時間をアラームでお知らせする機能などもご利用いただけます。

### ■ スマートフォン端末向けアプリ概要

アプリ名	『羽田空港 国内線』
対象機種	iPhone iOS4.3以上搭載のiPhone Android OS 2.2以上の各社スマートフォン
提供方法	App Storeよりダウンロードいただけます。(無料) Google Playよりダウンロードいただけます。(無料)

ホームページのご紹介



羽田空港 国内線旅客ターミナル BIG BIRD  
<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



株主・投資家情報  
<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>



日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号  
(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>



## 株主・投資家の皆さまへ 第69期 株主通信

2012年4月1日～2013年3月31日



日本空港ビルディング株式会社  
Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード: 9706



代表取締役社長 鷹城 勲

## つねに新たな価値を創造 羽田空港と当社グループ

**Q** 主な取組みとその成果について教えてください。

**A** 国内線第2旅客ターミナルの3スポット増設や物販・飲食事業で新施策に取り組みました。

当社グループは、2012年度を最終年度とする中期経営計画の具体化に向け、国内線第2旅客ターミナルの3スポット増設等に取り組み、2013年4月に供用を開始いたしました。また空室対策、飲食事業対策、事業運営コストの見直し及び新たな収益源の開拓の4点を最重要課題として経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

空室対策では、コンパクトホテルや「イセタンハネダストア」などをオープンしたことに加え、新たな業態の誘致を積極的に行うなど羽田空港の魅力向上と収益力の強化に取り組んでまいりました。また、事務室返却の抑制を図るため、定期借家契約の締結、一部家賃の見直し等を実施いたしました。その他の課題に関しても、プライベートブランド商品の拡充とその販売規模の拡大による商品原価の低減、物販・飲食事業における店舗運営方法の見直しなどによる収支改善を図るとともに、国内市中における物販店舗や中国における物販・飲食店舗展開といった羽田空港外における当社のノウハウを活用した新たな事業にも取り組んでまいりました。

## し航空輸送の発展に貢献するため、 は、未来へ向けて進化し続けます。

また、当社は、株主の皆さまに対する利益還元を最重要課題のひとつと位置づけ、内部留保の確保と安定配当の継続の両立に努め、当期の年間配当金を1株当たり昨年より3円増の10円（うち、中間配当金3.5円）とさせていただきます。

**Q** 新中期経営計画について教えてください。

**A** 羽田空港のさらなる進化への取組みと新しい空港運営の未来に向けた事業基盤の強化を目指します。

羽田空港国際線は現在11カ国17都市に就航しておりますが、2014年3月末までに昼間発着枠を倍増し、24時間運用空港としての機能強化が進められることから、国際線旅客数が増加し、羽田空港の国際化がさらに加速してまいります。そうした中、さらなる国際化に向けての取組みを最重要課題と位置づけると同時に、今後の空港経営改革の議論の進捗により、空港の運営がいかなるスキームになろうとも、当社が、羽田空港における運営事業者として選ばれる存在であり続けることの決意の下に、新中期経営計画の策定をいたしました。

新中期経営計画では『羽田空港のさらなる進化への取組みと新しい空港運営の未来に向けた事業基盤の

強化』をテーマとして掲げ、『羽田国際化への対応』、『新しい空港運営の未来の構築』、そしてこれを下支える『当事業の収益性の改善』を重点課題とし、最終年度である2015年度には、営業利益80億円、EBITDA205億円、営業利益率5%超の経営目標を達成したいと考えております。

**Q** 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

**A** 航空業界の一員として輝きを持って活動できるよう努めてまいります。

当社はこの度、英国SKYTRAX社が実施する世界の空港評価において、2部門で世界第1位を受賞いたしました。この栄誉ある賞に恥じることはないよう、当社グループが、羽田空港のさらなる進化の中で、航空業界の一員として輝きを持って活動できるよう、今後も一層の努力を続けていく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**Q** 航空業界を取り巻く状況を教えてください。

**A** 国内線・国際線で旅客数が増加した一方、環境変化への対応が求められています。

航空旅客数は、2011年に発生した震災の影響による大きな落ち込みの反動やLCC（ロー・コスト・キャリア）の参入等により、国内線・国際線ともに前期比で増加となり、概ね震災前の水準まで戻っております。

航空業界におきましては、航空自由化やLCCの参入等による競争の激化、さらには、空港経営の徹底的な効率化や空港施設の集客力、収益力の強化等を目指した空港経営改革推進の動きなど、コスト競争力強化等の環境の変化に向けた取組みが求められています。

当社は、「公共性と企業性の調和」という基本理念の下、わが国の経済成長の原動力たる航空業界において、空港ターミナル運営のリーディングカンパニーとしての『自覚』と『責任』を持ち、民間事業者が『公共を担う意義』を、すべてのお客さまに共感していただけるよう、より一層の経営効率化に取り組み、『羽田空港の絶え間ない価値創造に努め、航空輸送の発展に貢献できる会社』を目指します。

重点課題と対応方針

目指す姿 『羽田空港の絶え間ない価値創造に努め、航空輸送の発展に貢献する』

テーマ 『羽田空港のさらなる進化への取組みと新しい空港運営の未来に向けた事業基盤の強化』

A 羽田国際化への対応(内際一体化の強化)

- 内際ターミナル事業の連携を強化
- 内々、内際ハブとしてのサービスレベルを向上
- 羽田空港全体の価値向上と、当社グループの収益拡大機会を最大化

B 新しい空港運営の未来の構築

- 航空会社利用料、家賃体系見直し等(継続的な還元)
- 航空系収益への依存度低下、自ら需要創出する収益構造への転換
- イベントリスクに耐え得る経営構造
- 新しい空港運営を実現するノウハウ習得

C 当社事業収益性の改善

- 羽田空港の継続的な価値創造に資する投資の実践
- 仕組み自体の見直しによる効率化、不採算事業の方向性の決定
- 組織生産力の向上による収益基盤の再構築

経営目標  
2015年度の目標値

連結営業利益:80億円 EBITDA:205億円 連結営業利益率:5%超

※「内際」は「国内線-国際線」、「内々」は「国内線-国内線」、「内際」は「国際線-国内線」を表します。

※EBITDA=営業利益+減価償却費+受取利息+受取配当金

A 羽田国際化への対応  
(内際一体化の強化)

国際線ターミナルとの一体的な運用の強化と将来を見据えたハブ機能の強化

具体的施策

- ▶ 内際、内際乗継施設、ホテル施設等の新たなサービスの充実
- ▶ 乗継需要を促進させる商業施設の活性化
- ▶ 国際線受託業務
  - 有名ブランド店や名店をそろえた魅力的な商業施設の拡張展開による集客力の向上
  - 既存店の活性化と効率化により受託業務を強化し収益力を拡大

B 新しい空港運営の未来の構築

投資と還元を両立させ安定的収益を上げる新しい空港運営スキームの確立

具体的施策

- ▶ 利便性の質的向上と航空会社・旅客への還元強化
- ▶ 新しい空港価値の創造と非航空系収益の拡大
- ▶ 新しい空港運営の未来を構築するためのノウハウの習得

C 当社事業収益性の改善

絶え間ない価値向上を可能にする利益(投資の原資)を出すための事業基盤の再構築

具体的施策

- ▶ 店舗収支改善(店舗改装、MD検討など)
- ▶ 利益率重視の卸売体系の構築
- ▶ 調達業務の一元管理、連結部門ごとの収支責任管理体制の構築
- ▶ 事業評価、モニタリング体制の整備
- ▶ 組織生産性の向上

収支計画(連結)

新中期経営計画

	2012 (H24) (実績)	2013 (H25) (目標)	2014 (H26) (目標)	2015 (H27) (目標)
羽田空港旅客数(万人)				
国内線	5,893	6,030	6,090	6,150
国際線	792	820	1,270	1,280
施設管理運営業	427	436	474	486
物品販売業	785	771	869	891
飲食業	148	152	157	163
計	1,361	1,359	1,500	1,540
営業利益(億円)	41	43	60	80
経常利益(億円)	36	32	50	70
EBITDA(億円)	174	177	190	205
営業利益率(%)	3.1	3.2	4.0	5.2

# 羽田空港国内線第2旅客ターミナル 増築部の供用を開始

2011年12月から工事を行っておりました羽田空港国内線第2旅客ターミナルの増築工事が完了し、2013年4月から南ピア3スポットなどの供用を開始いたしました。

今回の増築工事により、さらに便利に、より楽しくなった第2旅客ターミナルをご紹介します。



## 今回増築工事(第2旅客ターミナルⅣ次計画)



## さらに便利に! 1 南ピア3スポット増設



- 利便性向上
- バリアフリー化の推進
- 滞在時間を楽しめる場所の提供

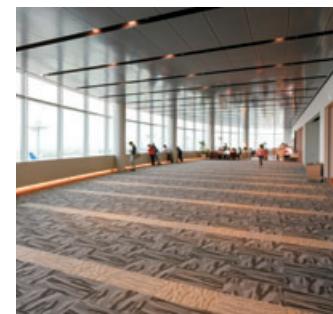
今回の増築部の供用により、お客さまの利便性・快適性・機能性を向上させるさまざまな施策を取り入れました。

- 固定スポット数は3スポット増え、合計23スポットに  
➔ 旅客ターミナルから飛行機に直接乗降できる比率が高まり、利便性が一層向上
- ステップレス(通路内に段差のない)タイプの旅客搭乗橋の採用
- 優先席ベンチシートを約270席増設  
➔ ご高齢の方や車椅子の方がより利用しやすく
- おもてなしの場作りにこだわった商業施設
- スタンディング形式の飲食店舗によるクイックサービス  
➔ 搭乗までの短い時間を有効に



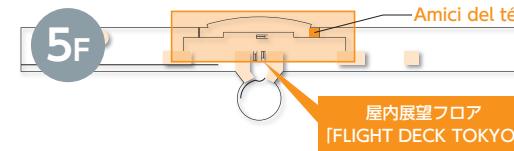
## より楽しく! 2 「FLIGHT DECK TOKYO」オープン

～どんな天候でも飛行機の離着陸の様子が楽しめます～



5階マーケットプレイスにオープンした屋内展望フロア「FLIGHT DECK TOKYO」は、広さ約600㎡。天候にかかわらず飛行機の離着陸の様子や東京湾を一望できます。

また、一息ついていただけるカフェ「Amici del té (アミーチ デル テ)」も併設して、空港を利用されるすべてのお客さまに楽しんでいただけます。



Amici del té  
(アミーチ デル テ)  
パンケーキ  
「フルーツミックス」



TOPICS 1  
 **羽田空港が国際空港評価の2部門で世界第1位**

この度、英国に拠点を置く航空サービスリサーチ会社SKYTRAX社が世界の395空港で実施する評価において、羽田空港国内線第1・第2旅客ターミナルと国際線旅客ターミナルが、以下の2部門で世界第1位を受賞いたしました。

SKYTRAX社の「WORLD AIRPORT AWARDS 2013」は2012年から2013年の9カ月間、世界395空港にて1,210万人を対象とした顧客調査で決められる賞です。

この受賞を励みに、当社では今後も皆さまにご満足いただける旅客ターミナルを目指して、さらなるサービス向上に取り組んでまいります。



**「World's Best Domestic Airport」世界第1位**

**羽田空港国内線旅客ターミナル**

国内線空港の総合評価部門で、羽田空港国内線第1・第2旅客ターミナルが、その優れた機能とアクセスなどが評価され、世界第1位となりました。

**国内線空港総合ランキング**

順位	空港	国
1位	羽田空港国内線ターミナル(第1・第2)	日本
2位	上海虹桥国際空港	中国
3位	ダーバン キング シャカ国際空港	南アフリカ

**「Best Airport Terminal Cleanliness」世界第1位**

**羽田空港国内線・国際線旅客ターミナル**

空港の清潔さや快適さなどを評価する部門で、羽田空港国内線第1・第2旅客ターミナル、国際線旅客ターミナルが、世界第1位となりました。

**カテゴリー別ランキング**

順位	空港	国
1位	羽田空港国内線ターミナル(第1・第2)・国際線ターミナル	日本
2位	仁川国際空港	韓国
3位	チャンギ国際空港	シンガポール

※羽田空港では、国内線第1・第2旅客ターミナルは日本空港ビルデング株式会社が、国際線旅客ターミナルは、東京国際空港ターミナル株式会社が、それぞれ所有、管理・運営をしております。

**SKYTRAX社「国際空港評価」**

世界の空港や航空会社の評価を行っており、その評価項目は多岐にわたります。チェックイン、到着、乗り継ぎ、ショッピング、出発時のセキュリティや出国管理の実体験が主な評価指標となっています。



TOPICS 2  
 **羽田空港新プライベートブランド「Times Cross」第1弾「焼きガトーショコラ・ラスク」登場**



おいしいスイーツを発見&コラボする空港だけのプライベートブランド「Times Cross(タイムズクロス)」の展開を、2013年6月1日から開始しました。

第1弾は「焼きガトーショコラ・ラスク」。東京都世田谷で見つけた洋菓子専門店「ラ・テール」で人気の「ガトーショコラ」をラスクに焼き上げました。クーベルチュールチョコレートと北海道産の発酵バターを贅沢に使い、濃厚で風味豊かな味わいに仕立てています。

「空港は、飛びたつ人、降りたつ人が行き交う時と人の交差点。全国からセレクトしたおいしいスイーツを空港ならではの情報発信力で編集し発信する」をコンセプトに、「Times Cross」は、空の旅にふさわしい上質を求め、ワンランク上のクオリティをお届けいたします。



**「焼きガトーショコラ・ラスク」販売場所**

- 第1旅客ターミナル | 2階北側東京食賓館
- 第2旅客ターミナル | 2階時計台3番前東京食賓館
- 国際線ターミナル | 4階江戸小路EDO食賓館(名産館)

他(合計14店舗)

TOPICS 3  
 **人気の空弁に「大空の釜めし」が仲間入り**  
 ~日本エアポートデリカが峠の釜めし本舗おぎのやと共同開発~



当社が株式会社JALUXとの共同出資で設立した日本エアポートデリカ株式会社が、峠の釜めし本舗おぎのやと、空弁「大空の釜めし」を共同開発し、2013年3月に販売を開始いたしました。

すき焼き、しいたけ煮などを盛り込んだ「大空の釜めし - 山の幸 -」、あなご煮、昆布煮などを盛り込んだ「大空の釜めし - 海の幸 -」の2種類をご用意。空の旅のお供に、お土産にとご好評をいただいております。



「大空の釜めし - 山の幸 -」

「大空の釜めし - 海の幸 -」

## 災害への取組み

### 震災時の安全確保のための対応を整備

当社は、東日本大震災を契機に、震災時の安全確保のために、さまざまな対策・対応をとっています。

#### ■建物の耐震性向上、減災への取組み

- ・旅客ターミナル天井部などの補強
- ・防煙垂れ壁を、ガラス式からフィルム式に交換

#### ■災害時の避難誘導設備の整備

緊急地震速報や津波などの警報を放送とともに的確に提供するため以下の設備を整備しています。

- ・館内モニターに緊急地震速報や津波などの警報を即時に表示するシステムを導入
- ・館内最終避難口の一部に、ランプ点滅と音声誘導機能付の誘導灯を設置

#### ■震災初動対応ガイドブックの作成、職員の研修・訓練の実施



### 飲料メーカーと災害時の飲料優先供給に関して協定を締結

大規模な災害が発生した際、羽田空港内には、お客さま、従業員など、多くの方々の滞留が想定されます。

当社では、このような事態を想定し、帰宅困難者対策として東京都帰宅困難者対策条例に規定されている3日分の非常食、飲料を備蓄しております。また、万が一、交通アクセスなどの復旧に時間を要し、お客さまなどの滞留が長期化した場合に備え、昨年、株式会社ローソンと食料・備品などの救援物資の供給協定を結び、加えて、本年、東京コカ・コーラボトリング株式会社と、羽田空港内の同社営業所に保管されている飲料を、救援物資として優先的に供給していただく協定を締結いたしました。



## 福島県飯舘村復興支援

### “までいアイテム”販売

当社は、2012年12月より国内線第2旅客ターミナル3階の当社直営店「Tokyo's Tokyo」において“までいアイテム”を販売しております。

“までい”とは「大切に」「心をこめて」「丁寧に」という意味の福島県北部地域の言葉で、福島県飯舘村の復興計画にも使われています。今なお故郷を離れ、仮設住宅での生活を余儀なくされている方々が、心をこめて作ったバッグやアクセサリーを販売することで、飯舘村の自立を支援しております。



## 利便性向上への取組み

### タブレット端末を活用したご案内サービスを提供開始

お客さまへの迅速な情報提供による利便性の向上と、より安心して旅客ターミナルをご利用いただけるよう、案内所及び巡回案内スタッフ(エアポートコンシェルジェ)による案内業務において、タブレット端末[iPad\*]の活用を2013年4月より開始いたしました。

**タブレット端末導入エリア** | 国内線第1・第2旅客ターミナル(案内所及び巡回案内スタッフ(エアポートコンシェルジェ))

#### タブレット端末で提供する主な案内サービス

- 1 案内書類を電子化し、フライト情報や館内情報をスムーズに
- 2 館内呼び出し登録システムで迷子のお子さまについての情報をスタッフ間で共有し、スピーディに
- 3 緊急連絡システムを活用し、地震などの緊急時の館内の状況をタイムリーに

\* iPadはApple Inc.の商標です。



## 施設管理運営業

31%



### 事業内容

旅客ターミナルの建設・管理運営

不動産賃貸

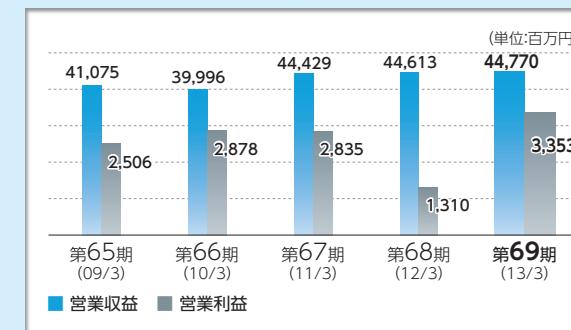
駐車場の管理運営

旅客案内 など

### 当期の状況

対前期比増収増益となりました。

- 家賃収入は、羽田空港国内線旅客ターミナルにおける航空会社用事務室の貸室返却等の影響により減少。
- 施設利用料収入は、航空旅客数の回復による国内線施設利用料収入の増加により増加。
- その他の収入は、①第1旅客ターミナルにおけるコンパクトホテル「ファーストキャビン羽田ターミナル1」の新規オープン、②駐車場及びエアポートラウンジの利用の増加、等により増加。



## 物品販売業

58%



### 事業内容

物販店舗の運営(業務受託を含む)

卸売

### 当期の状況

対前期比増収増益となりました。

- 国内線売上は、①航空旅客数の回復、②国内線第1旅客ターミナル出発ゲートラウンジ内における新規直営店舗展開や出発ロビーエリア店舗のリニューアル、③プライベートブランド商品の発売等の販売促進、により増加。
- 国際線売上は、①国際線旅客数の増加、②成田空港や関西空港における新規直営店舗展開、等の要因により大幅に増加。
- その他の売上は、国際線旅客ターミナル店舗等への卸売の増加等により増加。



## 飲食業

11%



### 事業内容

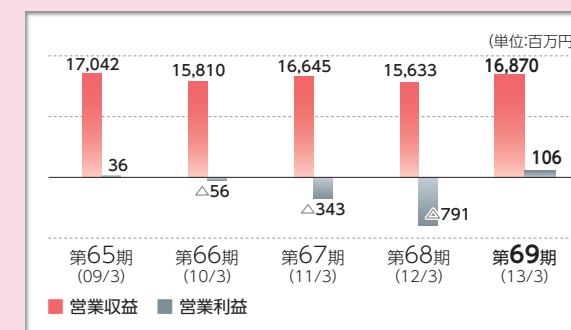
飲食店舗の運営

機内食の製造・販売

### 当期の状況

対前期比増収、黒字転換しました。

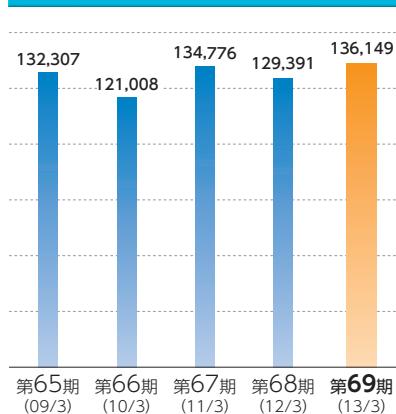
- 飲食店舗売上は、①航空旅客数の回復、②新規店舗展開、③顧客獲得のための積極的な営業活動、等により増加。
- 機内食売上は、外国航空会社の減便が当期に回復したこと等により増加。
- その他の売上は、国際線旅客ターミナルにおける航空会社ラウンジの運営業務受託の増加等により増加。



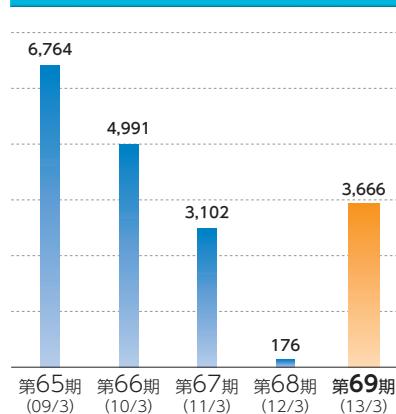
## 決算のポイント

- 営業収益** 航空旅客数の回復に伴う商品売上及び施設利用料収入の増加により増収
- 経常利益** 上記要因に加え、店舗運営の効率化、減価償却の逦減等により増益
- 総資産** 現金及び預金の減少、減価償却に伴う有形固定資産の減少等により減少

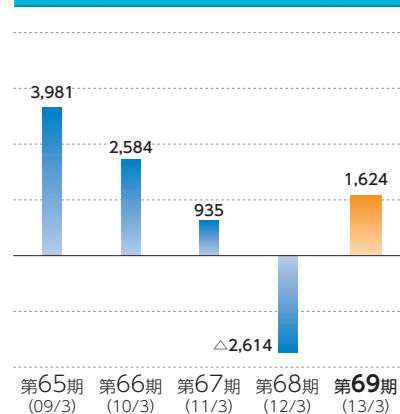
営業収益 (百万円)



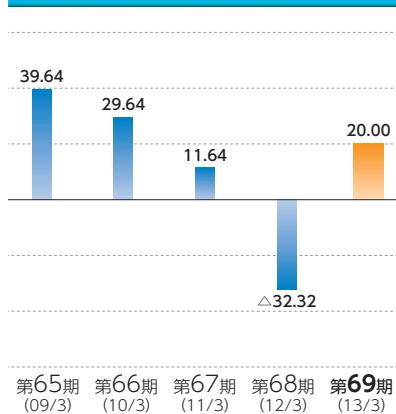
経常利益 (百万円)



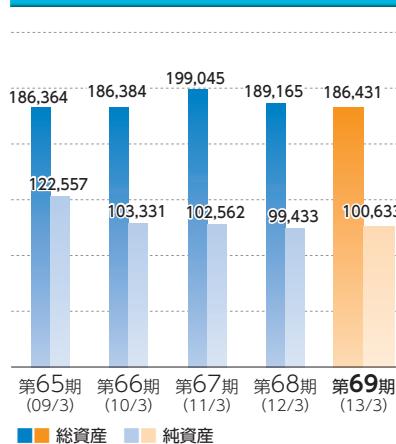
当期純利益 (百万円)



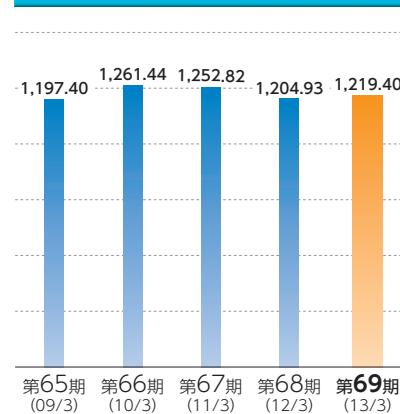
1株当たり当期純利益 (円)



総資産／純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



(単位:百万円)

	前期 2012年3月31日現在	当期 2013年3月31日現在
<b>連結貸借対照表</b>		
流動資産	36,760	32,584
固定資産	152,404	153,846
有形固定資産	127,912	122,761
無形固定資産	2,303	2,214
投資その他の資産	22,188	28,870
資産合計	189,165	186,431
流動負債	26,985	30,069
固定負債	62,745	55,728
負債合計	89,731	85,798
株主資本	99,379	100,434
その他の包括利益累計額	△1,500	△1,382
少数株主持分	1,555	1,581
純資産合計	99,433	100,633
負債純資産合計	189,165	186,431

(単位:百万円)

	前期 自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	当期 自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日
<b>連結損益計算書</b>		
営業収益	129,391	136,149
営業総利益	65,718	68,815
販売費及び一般管理費	64,841	64,635
営業利益	877	4,179
営業外収益	1,434	1,635
営業外費用	2,134	2,148
経常利益	176	3,666
特別利益	26	14
特別損失	560	42
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△357	3,638
法人税、住民税及び事業税	745	2,126
法人税等調整額	1,781	△164
少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	△2,883	1,675
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△269	51
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,614	1,624
連結キャッシュ・フロー計算書		
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,947	15,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,314	△15,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,614	△4,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△981	△4,664
現金及び現金同等物の期首残高	21,797	20,816
現金及び現金同等物の期末残高	20,816	16,151

詳細な財務情報は、当社ホームページ「株主・投資家情報」をご覧ください <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/>

## 株主ご優待券

羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定店舗にて**1枚1,000円の金券**としてご利用可能です。



ご所有株式数	ご優待券
100株以上 1,000株未満の場合	1枚 <b>1,000</b> 円分
1,000株以上 10,000株未満の場合	2枚 <b>2,000</b> 円分
10,000株以上の場合	3枚 <b>3,000</b> 円分

### ご利用いただける店舗

- 羽田空港 第1旅客ターミナル
- 羽田空港 第2旅客ターミナル
- 羽田空港 国際線旅客ターミナル
- 成田空港
- 関西空港



羽田空港 第1旅客ターミナル [MARKET PLACE]

## 株主ご優待割引券

羽田空港、成田空港及び関西空港内の当社指定免税売店をご利用いただける「株主ご優待割引券(10%引)」を1単位(100株)以上ご所有の株主さまに対し、**一律5枚配布**いたします。



ご所有株式数	ご優待券
100株以上	割引券(10%引) <b>5</b> 枚

### ご利用いただける店舗

- 羽田空港 国際線旅客ターミナル  
国際線3F出国エリア中央にごございます「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店」のみご利用となります。
- 成田空港、関西空港の当社指定の店舗



羽田空港 国際線旅客ターミナル [TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店]

株主ご優待券について、詳しくは、同送のご利用可能店舗一覧または以下のURLをご覧ください。

[http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock\\_information/preferential.html](http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html)

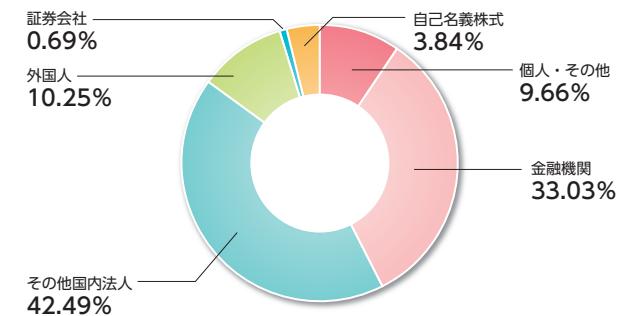
(2013年3月31日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,246,167株)	84,476,500 株
株主数	6,260 名

大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率*
日本航空株式会社	4,398	5.41
全日本空輸株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.19
三菱地所株式会社	3,111	3.83
株式会社みずほコーポレート銀行	3,000	3.69
大成建設株式会社	2,831	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,752	3.38
ジェーピーモルガンチェースバンク385174	2,616	3.22
日本通運株式会社	2,337	2.87

\* 持株比率は自己株式(3,246,167株)を控除して計算しております。  
 ※ 全日本空輸株式会社は、2013年4月1日、商号をANAホールディングス株式会社に変更しております。

### 所有者別株式数分布



事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

### 「復興特別所得税」についてのお知らせ

2011年12月2日に「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が公布されました。これに伴い、所得税全体を対象として、2013年1月から2037年12月までの25年間、基準所得税額に対し2.1%の「復興特別所得税」が課税されることになりました。

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照ください。

上場株式等の配当等に係る税金と税率	所得税 住民税	25年間基準所得税額に対し、2.1%の付加税が上乗せされます		
		2013年	2014年~2037年	2038年~
合計		10.147% 【軽減税率】	20.315%	20%

※2013年1月時点での情報をもとにしています。  
 ※詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。

# 会社概要

CORPORATE DATA

(2013年6月27日現在)

会社概要	
商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 ①航空旅客ターミナル施設、見学送迎施設等の建設、管理 ②航空運送事業者および空港構内営業者に対する事務室、店舗、作業場等の賃貸 (2) 物品販売業務 ①羽田空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 ②成田国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 ③関西国際空港旅客ターミナルビルにおける物品販売業務 (3) その他のサービス業務 ①羽田空港利用者に対する案内業務、駐車場、旅行傷害保険代理業、ホテルあっせん等のサービスの提供 ②成田国際空港利用者に対する旅行傷害保険代理業

本社および営業所等	
本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 日本ビル10階
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地 (関西国際空港内旅客ターミナルビル本館1階)
中部営業所	愛知県常滑市栄町一丁目124番地

役員		
代表取締役社長執行役員	鷹城 勲	
代表取締役副社長執行役員	土井 勝二	
専務取締役執行役員	横田 信秋	
専務取締役執行役員	那波 史郎	
常務取締役執行役員	越智 久男	
常務取締役執行役員	阿南 優樹	
常務取締役執行役員	浅野 文郎	
常務取締役執行役員	宮内 公	
常務取締役執行役員	米本 靖英	
常務取締役執行役員	河合 誠	
取締役(非常勤)	高木 丈太郎	
取締役(非常勤)	小谷 昌	
取締役(非常勤)	洞 駿	
取締役(非常勤)	大西 賢	
取締役(非常勤)	櫻井 正志	
監査役	小川 洋一	
監査役	古賀 幸	
監査役(非常勤)	赤井 文彌	
監査役(非常勤)	樋口 公啓	
監査役(非常勤)	竹島 一彦	

専務執行役員	田中 一禎
常務執行役員	丸岡 晋
常務執行役員	仲野 眞琴
常務執行役員	田中 一仁
執行役員	徳武 大介
執行役員	大谷 益夫
執行役員	久保 健治
執行役員	正木 弘明
執行役員	炭本 悟
執行役員	川崎 智洋
執行役員	藤野 威
執行役員	小山 陽子

## 基本理念とグループ概要



1953年、当社は羽田空港の旅客ターミナルビルの建設・管理運営を目的として設立されました。  
現在、当社グループは、施設管理運営業のほか、免税店などの物品販売業、空港内レストランや機内食製造・販売などの飲食業を展開しております。

### CS理念

「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」のもと、すべてのお客さまにご満足いただけるよう、サービスの向上に取り組んでいます。

### 基本理念

#### 公共性と企業性の調和

### 経営方針

- 旅客ターミナルビルにおける絶対安全の確立
- お客さま本位(利便性・快適性・機能性)の旅客ターミナルビル運営
- 安定的かつ効率的な旅客ターミナルビル運営
- 企業体質の強化およびグループ企業の総合力向上

## 日本空港ビルディング(株)

グループ会社

### 施設管理運営業

- 保守管理
- 日本空港テクノ(株)  
空港ターミナル施設等の保守管理業、環境衛生管理および園芸管理
  - 羽田エアポートセキュリティー(株)  
警備業務および駐車場管理業務
  - (株)櫻商会  
エアポートクリーンセンター、廃棄物処理サービス
- サービス
- (株)ビッグウイング  
広告代理業、イベントの企画および運営
  - 羽田旅客サービス(株)  
旅客サービス業務
  - ジャパン・エアポート・グランドハンドリング(株)  
旅客ハンドリング業務

### 物品販売業

- (株)羽田エアポートエンタープライズ  
羽田空港、成田国際空港および関西国際空港における店舗運営業
- 国際協商(株)  
食品および雑貨の卸売事業
- (株)日本空港ロジテム  
商品の運送業および配送業
- 羽双(成都)商貿有限公司  
成都双流国際空港における物販事業および卸売事業
- (株)浜貝  
海産物等の卸売業および小売業

### 飲食業

- 東京エアポートレストラン(株)  
飲食店業および軽食の販売
- コスモ企業(株)  
機内食製造販売
- (株)シー・ティ・ティ  
航空機内用品および食器類の洗浄 ほか
- 会館開発(株)  
飲食施設の運営、宿泊・ホール・会議室の管理運営 ほか
- 羽双(成都)商貿有限公司  
成都市内における飲食事業